

新しい仲間が増えました！ ～新入職員入職式～



4月2日、今年度は17名の新入職員が仲間入りしました。2日間に亘って研修を行い、社会人として、そして医療人として、当院が目指す熊本ホスピタウン構想の実現のために、意識を一つにしました。

最初は緊張した面持ちだったスタッフも、研修終盤は笑顔が見え、同期との会話を楽しんでいました。

皆様、新しい仲間達を宜しくお願いします。

外来診療スケジュール

平成30年5月時点

		月		火		水		木		金		土
診療科	専門	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
整形外科		林	山口浩司	林	小山			唐杉		福田	福田	輪番
		山口浩司	中島	山口浩司								
		中島		中島								
	関節外科					手術	手術					山口浩司 (完全予約制)
	ひざ専門				林 (予約制)							
	関節・スポーツ 骨粗鬆症 (第4木曜のみ)							山口浩司 (予約制)		山口浩司 (予約制)		
内科	一般	西村 (予約制)			西村 (予約制)	末藤 (予約制)				西村 (予約制)	吉田	輪番
		吉田			吉田	山口勉				山口勉		
		増田		山口勉		山口勉	増田					
	脳神経内科					箕田 (予約制)	箕田 (予約制)	植田	箕田 (予約制)			
	代謝内科		篠原 (予約制)	篠原 (予約制)		篠原 (予約制)			篠原 (予約制)	篠原 (予約制)		
	循環器内科			徳永 (予約制)								輪番
泌尿器科					米納 (予約制)							
皮膚科					山下 (予約制)	山下 (予約制)			山下 (予約制)			
麻酔科		柳下		柳下/辻						柳下		
健診		山口勉		増田		増田		山口勉		増田		
訪問診療			吉田 林 (最終週)		末藤	吉田		吉田			西村 (第1・2週)	

【お知らせ】

- * 月曜日～土曜日午前6時30分より整理券配布、午前7時30分より受付を行います* 土曜日(受付終了時刻)午前12時までとなります
- * 月曜日～金曜日(受付終了時刻)午前12時、午後17時までとなります。* 土曜日の循環器内科初診の方は受付11時までとなります
- * 内科・整形外科の一部、皮膚科、泌尿器科は予約制とさせていただきます。予約制の外来では予約されている患者様優先となります。予約なしの患者様は待ち時間が長くなる事がありますので、あらかじめご了承ください。
- * 土曜日の整形外科山口浩司医師の診察(不定期)、木曜日の皮膚科の診察は完全予約制となります。
- * 土曜日の整形外科・一般内科・循環器内科の担当医師は輪番制となります。
- * 医師の学会出張等に伴い診療日が急遽変更になる場合がございます。予め掲示板にてお知らせ致しますのでご確認ください。



新しく地域連携課への直通電話が出来ました！

関係医療機関や介護施設
ならびに入院・退院に関する
ご相談などお電話下さい
(繋がらない場合は下記代表電話へ)

TEL (096) 277-1701
FAX (096) 277-1721



NISHI KUMAMOTO HOSPITAL
にしくまもと病院

発行：総務課広報担当

熊本市南区富合町古閑 1012 TEL096 (358) 1118 代表

～熊本ホスピタウン構想の実現を目指して～

Vol.88

にしくまだより



～menu～

- ◆新任医師のご挨拶◆
- ◆地域包括ケア情報◆
- ◆新理念について◆
- ◆新入職員入職式◆
- など



熊本地震前の井樋橋



近隣の名所シリーズNo.5

よみがえれ いびばし

「甦れ！井樋橋」

当院から国道3号線を宇土方面に約1km南下した所に、井樋橋(いびばし)という水門があります。旧富合町の指定有形文化財で、慶長13年熊本城主の加藤清正が低湿地を耕地にするため、井手を掘り雨水を川に流し、塩水が流れ込まないようにするため作られました。重厚な馬門石が使われ、上げ潮時には自然の力で閉じる観音開きの水門として、最近まで活用されておりました。

しかし、平成28年4月に起こった熊本地震で無残にも橋は崩壊してしまい、現在は修復作業の真っただ中です。

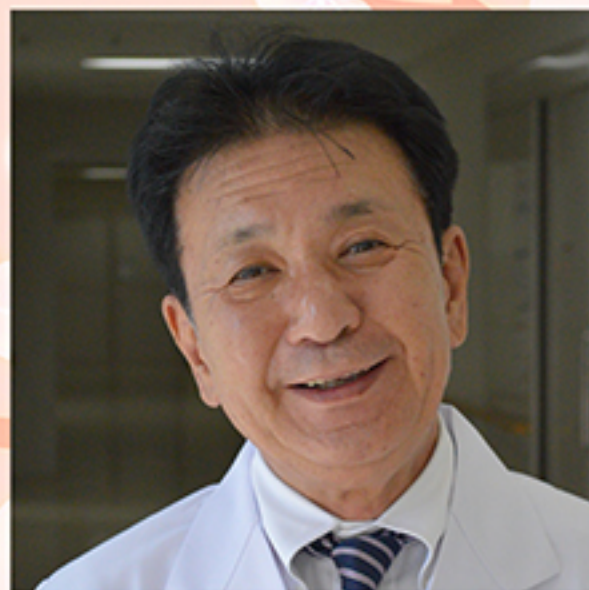
新任ご挨拶

～よろしくお願いします～

平成30年4月1日より、にしくまもと病院の院長補佐として就任致しました。私が医師を目指した理由は、幼少期時代体が大変弱く、入退院を繰り返していたのですが、当時の主治医にあこがれたのがそもそものきっかけでした。熊本大学医学部卒業後、大学病院で研修を受けたのですが、その時の指導医がにしくまもと病院の林院長でした。その師弟関係のまま月日が流れ、縁がこれまで繋がって、今回お世話になることになりました。

3月までは、熊本赤十字病院に32年間在籍し、副院長も務めました。その間、救急医療だけでなく災害救援チームとして、神戸や中越、東日本、そして熊本などの国内大規模災害はもちろん、活動は国境を超え、イラン地震の救援活動にも参加しました。中でも記憶が強く残るのは、日赤ERU（緊急対応ユニット）として約6カ月間活動したスマトラ沖地震です。発生後5日目には、現地に入り救援にあたりましたが、インフラは崩壊し、薬などの物資や医療施設もなく、治安や衛生環境も悪化する中での救援経験は、医療人としての器を大きくする反面、自然の中での人間の小ささを気づかせてくれました。

今後は、災害時医療はもちろん、超高齢化という現在日本が抱える医療・介護問題の最前線で、原点に返り患者さんと地域の橋渡しができる医療を行っていきたいと考えております。そして、林院長や病院スタッフと共に、熊本ホスピタウン構想（健康の充実した街づくり）の実現をサポートしていく所存です。



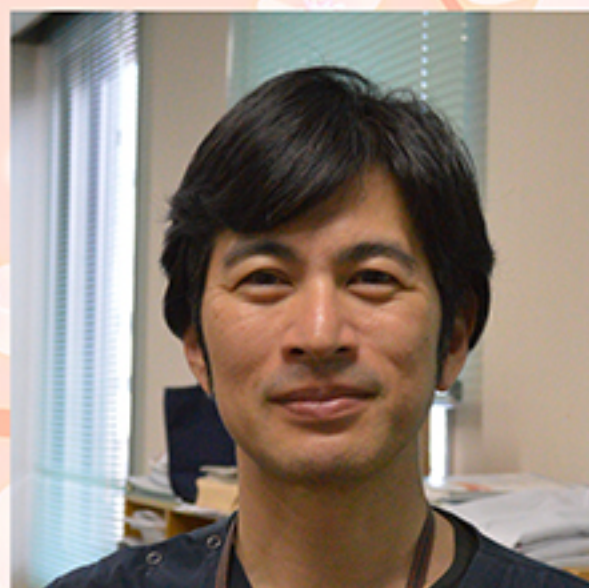
院長補佐 中島 伸一

日本整形外科学会専門医、日本専門医機構整形外科専門医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本医師会認定産業医、厚生労働省臨床研修指導医

平成30年4月1日より、脳神経外科・リハビリテーション科医師として就任致しました。私は、十数年間脳神経外科医として主に脳卒中の急性期治療に接してきました。また大学院ではもともと内在している自身の幹細胞による神経再生をテーマに研究しました。この頃より脳卒中後の神経機能回復に興味を持ちました。大学院を卒業後に再度脳卒中急性期の治療の場に戻りましたが、急性期では手術などでの対応に追われて、脳卒中の方の急性期以降の回復の経過については満足に知ることができない状態でした。そこで、回復期リハビリテーションの勉強のために平成27年より久留米の聖マリア病院のリハビリテーション科に移り、脳血管障害や運動器の回復期のリハビリテーションについて勉強させていただきました。

これまでの脳神経外科医としての知識を元に、ご家族・本人さまに十分な説明をさせて頂き、ご理解いただいた上で最適なリハビリテーションをすすめていきたいと考えております。

ご不明な点や疑問がありましたら、いつでも気軽にご相談ください。スタッフと共に、皆様が納得いかれるリハビリテーションを含めた治療を心掛けていきますので、よろしくお願いいたします。



脳神経外科部長 松元 淳

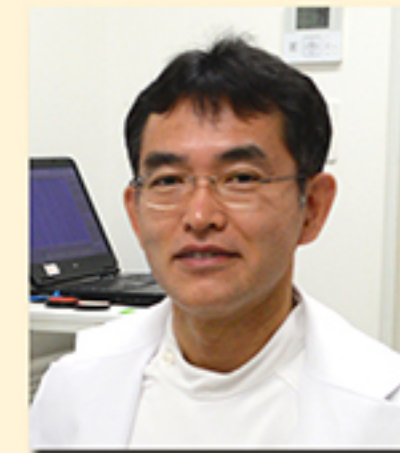
日本脳神経外科学会専門医・日本脳卒中学会専門医・日本リハビリテーション医学会専門医 指導医

当院の新しい理念が誕生しました

平成30年は節目の年、世の中はあらゆる面で時代の転換期を迎えています。にしくまもと病院は心を新たに、職員全員で共有する「理念」をかかげました。これから私たちの心の礎となるものです。理念を具体的に目標として表わすのが「基本方針」です。

患者様の心のよりどころになるような、また職員の一人ひとりの支えとなるような言葉を考えました。新しい「ロゴ」は医療人としての責任を誇りとする意思表示です。

今年、当院初となる病院機能評価事業の受審も控え、職員の意思統一をはかる絶好の時期であると捉えています。私たちの努力が患者様、地域の皆様のためになることを信じて進んでいきたいと考えています。NISHIKUMA SPIRITSを心に、寄り添って、強く、優しい、優れた病院となるために力を合わせて頑張っていきます。



院長代行 山口 浩司

SPIRITS OF
NISHIKUMA

since2018

↑ 新理念のシンボルマーク

理念

いつも患者さんに寄り添い、強く、優しい、優れた病院を目指します。

基本方針

1. あなたに寄り添い、心のかよった医療を提供します。
2. 医療人として常に向上心を持ち、進歩する、質の高い医療を提供します。
3. 職員一人ひとりを大切に、心豊かな輝く医療人となることを支援します。
4. あらゆる職種が信じあって協働する「チーム医療」を実践します。
5. 地域に根ざし、調和する、頼られる日本一の病院を目指します。

地域包括ケア 当院の取組み

◆復興リハビリテーション活動で熊本県より感謝状を頂きました◆

当院は平成29年9月に設置されました「熊本県復興リハビリテーションセンター」の活動を通し、熊本市南区の応急仮設住宅の集会所等において、介護保険の認定を受けていない高齢者や要支援認定の高齢者等を対象に、介護予防に資する運動の指導や運動器機能評価、自主グループの育成等を、関係機関との連携のもと進めて参りました。この活動は残念ながら、平成29年度末をもって終了となります。去る平成30年3月30日には、復興リハビリテーション最終報告会が行われ、県や復興リハビリテーションセンター事務局からの



活動実績等の報告と共に、関係した医療機関・事業所に対してこれまでの活動に対する感謝状を頂きました。

平成30年度以降は、地域リハビリテーション広域支援センターの立場として、閉じこもりや生活不活発の予防も含めた介護予防の活動を中心に、仮設毎の状況に応じた必要な支援を関係機関と協力しながら行う事になっております。

地域住民の皆さんの生活再建に向け、また、再建後の生活がいきいきとしたものになっていくよう、地域リハビリテーション活動を通して、効果的な支援を行っていきたいと考えております。

復興リハビリテーションの活動は当院ホームページ下部にある「熊本地域リハ広域支援センター」のブログでも紹介しております



◆6階地域包括ケア病棟の個室を増床しました◆

昨今、増加する個室希望の患者様に対応すべく、6階病棟の個室を4床増床しました。それぞれのニーズに合わせ、ユニットバスやトイレだけ設置した部屋もございます。富合町は東京ディズニーランドが40個以上入る大変広い町ですが、なんと当院が一番高い建物なので、最上階からの眺めは素晴らしく、九州新幹線はもちろん、天気が良ければ雲仙普賢岳や阿蘇の山脈も展望できます。

